



白山文化博物館開館二〇周年
白山開山一三〇〇年祭関連特別展示

白山中宮長瀧寺を

支えた僧坊

阿弥陀三尊来迎図 経間坊所蔵



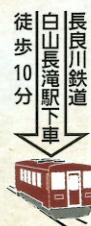
伝教大師像 経間坊所蔵



経間坊

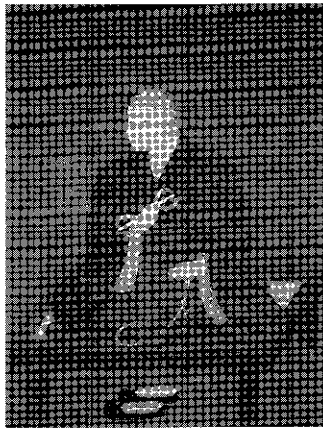
2017 2018
11.22(水) - **2.19**(月)

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日 毎週火曜日・祝日の翌日・年末年始(12月27日～翌年1月4日)
(火曜日が祝祭日の場合はその翌日)
入館料 一般(高校生以上) 1人310円(20名以上の団体は1人260円)
小人(小・中学生) 1人100円(20名以上の団体は1人50円)

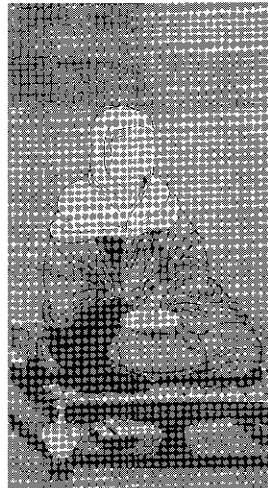


白山文化博物館
〒511 岐阜県郡上市白鳥町長滝402番地11 TEL.0575-85-2663

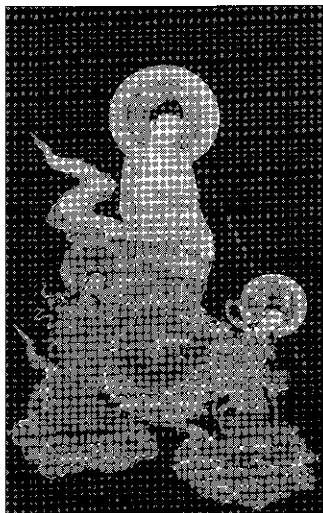
主な展示作品



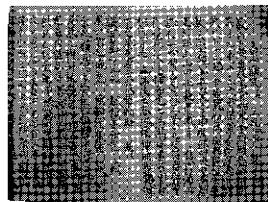
絹本著色弘法大師像
(阿名院所蔵)



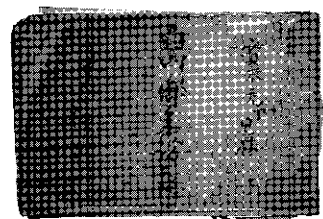
伝教大師像
(経間坊所蔵)



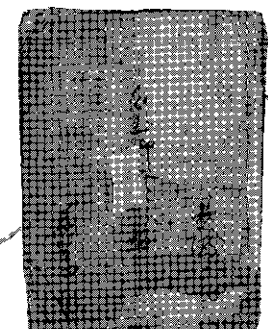
阿弥陀三尊来迎図
(経間坊所蔵)



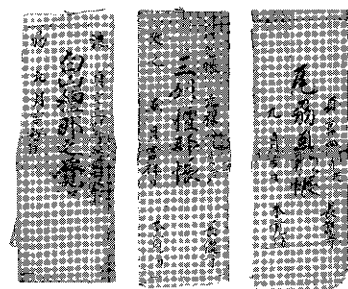
泰澄講法則
(経間坊所蔵)



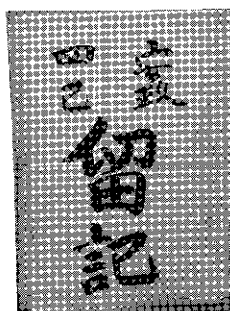
白山御参詣之帳
(経間坊所蔵)



白山御祭礼鑑
(経間坊所蔵)



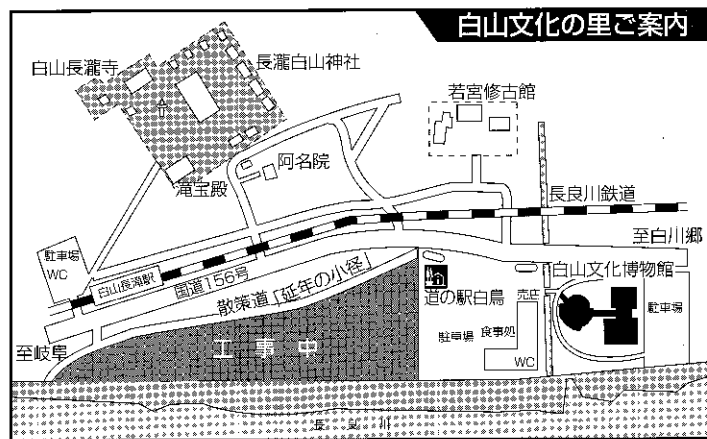
白山檀那场帳
(経間坊所蔵)



留記(安政四年)
(経間坊所蔵)

美濃馬場は、奈良時代の高僧・泰澄大師が白山へ登る道を開いた時に、今の白鳥町長滝に白山中宮長瀧寺を創建したのが始まりといわれ、美濃の白山参りの中心として多く参詣者で賑わいました。そこではかつて六谷六院の三百六十に及ぶの僧坊の僧侶たちが、白山中宮長瀧寺の運営に携わっていたと古い記録は伝えています。

今回は、今に残る長滝の僧坊のうち、経間坊や阿名院に伝わる仏画や古文書などを中心に、初公開となる資料を交え、寺院での法会や各地の檀那場回りの活動など、白山中宮長瀧寺一山の特色的な姿をご紹介します。



- ### 交通のご案内
- 自動車の場合
岐阜市から東海北陸自動車道(岐阜各務ヶ原IC~白鳥IC)を利用し、国道156号線を道の駅白鳥まで北上。
 - 列車の場合
岐阜市よりJR高山線で美濃太田へ約40分、美濃太田駅から長良川鉄道で白山長瀧駅まで約2時間。
 - バスの場合
新岐阜駅から岐阜バス高速八幡線で郡上白鳥まで約2時間。郡上白鳥から白鳥交通白鳥庄川線で北濃長滝バス停まで約10分。